

問1 障害保健福祉施策について、適切なものを1つ選択しなさい。

- 1) 障害福祉施設従事者が障害者に対して、罵声を浴びせる、無視するといった行為をすることは、心理的虐待ではない。
- 2) 共同生活援助（グループホーム）の利用者が、日中に就労継続支援サービスを利用することは可能である。
- 3) 障害者総合支援法において、障害福祉サービスの利用にかかる利用者の自己負担は1割で、月額上限はない。
- 4) 障害者総合支援法では、それぞれの障害種別（身体、知的、精神）の特性に対応するため、障害種別ごとに利用できる施設や事業体系が複雑に分かれている。

問2 感染予防策について、誤っているものを1つ選択しなさい。

- 1) 感染を予防する目的で、在宅においても喀痰吸引等を行うときは標準予防策を守る。
- 2) 「たん」などの体液が手についたときは、石けんと流水で手洗いを行う。
- 3) 感染を予防するために、ケアで使用した器材の取り扱いも重要である。
- 4) 細菌の多くは手を介して感染するので、この感染経路を断つための最もよい方法はマスクの使用である。

問3 健康状態の把握として、誤っているものを1つ選択しなさい。

- 1) 利用者の平常状態を理解しておくことが大切である。
- 2) 利用者の普段のバイタルサインの値を理解しておくことが必要である。
- 3) 入浴や運動などでは、バイタルサインの変動はしない。
- 4) パルスオキシメーターは、利用者の血液中の酸素飽和度が皮膚を介して測定できる。

問4 胃ろうについて、誤っているものを1つ選択しなさい。

- 1) 胃ろうから栄養剤が漏れていても、異常ではない。
- 2) 胃ろうチューブは、バルーンの方がバンパーより抜けやすいので注意が必要である。
- 3) 胃ろうに感染の兆候がなければ、入浴しても大丈夫である。
- 4) 胃ろうしている人の口腔ケアは、1日3回程度実施する必要がある。

問5 子どもの経管栄養について誤っているものを1つ選択しなさい。

- 1) ケア時間を調整し、子どもの生活リズムを乱さないようにする。
- 2) 経管栄養が終了するまでは、子供の姿勢を固定しておく。
- 3) ろう孔部を清潔に保つため、微温湯や石けんで洗浄する。
- 4) 泣いたり、抱っこしたときに経管栄養チューブが折れ曲がったりしないよう注意する。

問6 経管栄養の実施で適切なものを1つ選択しなさい。

- 1) もともと意識障害がある人には、実施してはいけない。
- 2) 経管栄養を滴下し始めた途端、むせ込みや咳が見られたが経管栄養を継続した。
- 3) いつもより熱っぽく、熱が38度以上あったが栄養摂取が重要なので実施した。
- 4) 栄養剤の滴下が止まっていたので、最初に利用者の体位を調整した。

問7 経管栄養のリスクについて誤っているものを1つ選択しなさい。

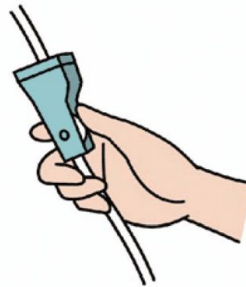
- 1) 液状の栄養剤は、半固形のものに比べ食道への逆流がしやすい。
- 2) 高齢者は、噴門がゆるんでしまうことが原因で、食道への逆流がしやすい。
- 3) 経鼻経管栄養は、栄養チューブが多少抜けても安全な栄養法である。
- 4) 嘔吐の原因として、胃腸の蠕動運動の低下が挙げられる。

問8 経管栄養時の体位について誤っているものを1つ選択しなさい。

- 1) ベッドの場合、利用者の頭部を30~60度上げたファウラー位にする。
- 2) 車いすや安楽なソファの場合、上体を起こし利用者が安楽な体位にする。
- 3) 頭部を高くしたとき、顔色などを観察しながら体位を整える。
- 4) 嘔吐等での窒息を予防するために、経管栄養中は体位変換を行ってはいけない。

問9 下図の物品の名称として、適切なものを1つ選択しなさい。

- 1) クレンメ
- 2) 滴下筒（ドリップチャンバー）
- 3) カテーテルチップシリンジ
- 4) 経管ボトル



問10 経管栄養の緊急時の対応方法で誤っているものを1つ選択しなさい。

- 1) 胃ろうチューブが引っ張られて抜けたので、医師に連絡した。
- 2) 緊急時を想定し、利用者、家族、医療者とともにあらかじめ対処の方法と連絡場所を確認しあった。
- 3) 嘔吐があったので、挿入中の胃ろうチューブを患者から抜き取った。
- 4) 酸素飽和度（ SpO_2 ）が急激に下がったので、すぐに滴下を中止し医療者に連絡した。

問 1 1 呼吸のしくみについて、誤っているものを1つ選択しなさい。

- 1) 呼吸は、換気とガス交換が適切に行われることによって維持される。
- 2) 鼻腔や口腔から入った空気は、次に喉頭を通る。
- 3) 肺胞と毛細血管の間で行われる酸素と二酸化炭素の交換をガス交換という。
- 4) 呼吸運動には、肺の周りの筋肉や骨、神経などが関係している。

問 1 2 呼吸状態に関する説明として、適切なものを1つ選択しなさい。

- 1) 呼吸状態が悪くなると、脈が速くなることがある。
- 2) 呼吸状態が悪くなると、意識が薄れて反応が乏しくなることはない。
- 3) 呼吸状態は、精神的な影響を受けない。
- 4) 経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO₂) の値が 90%以下は正常と判断する。

問 1 3 呼吸のしくみに関する説明として、誤っているものを1つ選択しなさい。

- 1) 気道が狭くなっていると、換気がうまくできず呼吸が苦しくなる。
- 2) 横隔膜のはたらきが低下すると、換気が十分にされず呼吸が苦しくなる。
- 3) 「たん」や唾液があると、ガス交換がうまくできず呼吸が苦しくなる。
- 4) 肺胞に問題があると、ガス交換がうまくできず呼吸が苦しくなる。

問 1 5 介護職員等が一定の条件のもとで業として行うことができる「たん」の吸引について、誤っているものを1つ選択しなさい。

- 1) 鼻腔内吸引
- 2) 舌と頬の粘膜との間の吸引
- 3) 咽頭内吸引
- 4) 気管カニューレ内部の吸引

問 1 6 子どもの「たん」の吸引について、適切なものを1つ選択しなさい。

- 1) 新生児の吸引では、通常、吸引カテーテルのサイズは大人より太くなる。
- 2) 乳幼児の吸引では、通常、吸引カテーテルの挿入の長さは大人より短くなる。
- 3) 吸引することを子どもに説明する必要はない。
- 4) 吸引時間の目安は 15～30 秒である。

問17 吸引時の感染予防として、適切なものを1つ選択しなさい。

- 1) 鼻腔内を吸引した後で気管カニューレ内の吸引が必要になったので、新しい吸引カテーテルを使った。
- 2) 居室を密閉し、換気しない。
- 3) 素手で吸引カテーテルの先端をもって吸引する。
- 4) 吸引時に「たん」が飛び散るときは、マスクやガウンなどの防護用具を使わない。

問18 「たん」の吸引を実施する場面について、誤っているものを1つ選択しなさい。

- 1) 「たん」が増加し、排出しにくい。
- 2) 咳嗽反射が弱く、「たん」を排出しにくい。
- 3) 「たん」が硬くなり、排出しにくい。
- 4) 食事の前に、予防の目的で「たん」を吸引する。

問19 「たん」の吸引に関する次の文章のうち、誤っているものを1つ選択しなさい。

- 1) 吸引時間が長引くと低酸素の状態になることがある。
- 2) 吸引カテーテルを挿入することで不快を感じることはない。
- 3) 吸引により嘔吐することがある。
- 4) 吸引カテーテルの挿入により出血することがある。

問20 「医療者にすぐに連絡が必要」と考えられる状況として、適切なものを1つ選択しなさい。

- 1) パルスオキシメーターで、酸素飽和度 (SpO₂) が96%を示している。
- 2) 吸引後、呼吸のリズムが安定した。
- 3) 吸引しても、普段と同じように口唇にチアノーゼが見られる。
- 4) 吸引しても「たん」が引ききれず、利用者が苦しい表情をしている。